



J R 連 合 N E W S

J R 産 業 に 集 う
す べ て の 仲 間 の
J R 連 合 へ の
総 結 集 を !!

2025 年 度

N o . 5 6

2 0 2 6 年 1 月 1 6 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

J R 連 合 見 解 に つ い て の マ ス コ ミ 説 明 会 を 実 施

J R 連 合 は、昨 年 11 月 以 降 2 つ の 見 解 公 表 し て お り、こ れ ら の 見 解 を 世 間 に 広 く 訴 え る た め、1 月 14 日 に マ ス コ ミ 向 け 説 明 会 を 行 っ た。

説 明 会 に は 報 道 機 関 の 関 係 者 ら 13 名 が 参 加 し、活 発 な 質 疑 が 行 わ れ、一 部 の 新 聞 社 で は 即 日 記 事 化 さ れ た。



「整備新幹線が需要予測を上回ったのは、努力や創意工夫の結果」

昨 年 11 月 に 公 表 し た 「財 政 制 度 等 審 議 会 の 指 摘 に 対 す る J R 連 合 の 見 解」で は、国 の 財 政 制 度 等 審 議 会 が 行 っ た 整 備 新 幹 線、物 流 政 策 な ど の 社 会 資 本 整 備 へ の 指 摘 に 対 す る J R 連 合 の 主 張 を ま と め て い る。

例 え ば、「整 備 新 幹 線 の 貸 付 料 等 に つ い て、需 要 予 測 を 上 回 っ た 部 分 は 追 加 的 に 徴 収 で き る よ う に 算 定 方 式 を 見 直 す べ き」と の 指 摘 に 対 し、「需 要 予 測 を 上 回 っ た 要 因 に は J R の 企 業 努 力 や 労 働 者 の 創 意 工 夫 が あ り、意 欲 が 失 わ れ な い よ う 慎 重 に 検 討 す べ き」と 主 張 し た。



見 解 の 全 文 は こ ち ら

「労働基準関係法制は労働組合の組織拡大に繋がる見直しを」

1 月 14 日 に は、「過 半 数 代 表 制 等 に 関 わ る 労 働 基 準 関 係 法 制 の 見 直 し に 対 す る J R 連 合 見 解」を 公 表 し た。

厚 生 労 働 省 は、労 働 基 準 関 係 法 制 の 見 直 し に 向 け て、2025 年 2 月 か ら 労 働 政 策 審 議 会 ・ 労 働 条 件 分 科 会 を 開 催 し、過 半 数 代 表 者 選 出 手 続 き の 厳 格 化 や 便 宜 供 与（会 社 設 備 の 利 用 や 勤 務 免 除 等）な ど も 議 論 し て い る。J R 連 合 は、労 働 組 合 の 組 織 拡 大 に 繋 がる 政 策 と な る こ と が 重 要 と の 考 え の も と、過 半 数 代 表 者 が 適 正 に 選 出 さ れ る よ う 選 挙 管 理 委 員 会 の 設 置 を 求 め る と と も に、過 度 な 便 宜 供 与 を 与 え る こ と は “疑 似 労 働 組 合” を 容 認 す る こ と に 繋 が り、労 働 組 合 の 組 織 拡 大 や 活 性 化 を 阻 害 す る 恐 れ が あ る た め 慎 重 に 検 討 す べ き と 牽 制 し て い る。



見 解 の 全 文 は こ ち ら